

國學院大學文学部外国語文化学科《多言語・多文化の交流と共生》プロジェクト

もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大學

司会
笠間直穂子
(國學院大學准教授)

配信機材・オペレーター：山口典孝 (STUDIO JOY)

広報物デザイン：五十嵐哲夫

主催：國學院大學文学部外国語文化学科

2021年
12月18日(土)

めづって
アフリカ
ン文学を

出演
栗飯原文子
(法政大学教授)

くぼたのぞみ
(翻訳家)

中村隆之
(早稲田大学准教授)

16:00-18:00

特別出演
橋本智弘
(青山学院大学准教授)

※視聴無料・申込不要

※使用言語：日本語

言葉を移す、
文化を映す、

YouTubeライブ配信
<https://youtu.be/zegrJRdsa1w>



アフリカン文学を めぐって

今回のテーマは、「アフリカン文学をめぐって」です。

「アフリカン文学」という分野が、元々あるわけではありません。

このイベントの企画を考えていて、頭に浮かんだ言葉です。「アフリカ文学」ではなくて、「アフリカン文学」。

なぜ、「アフリカン文学」なのか。

これを考えるためには、まず、「アフリカ文学」について考えてみる必要があります。

「アフリカ文学」と聞いて、みなさんはどのようなものを想像するでしょうか。

「アフリカで書かれた文学」？
でも、「アフリカ文学」と呼ばれている作品のうち、意外と多くのものが、アフリカ出身の作家が移住した先の国で書かれています。

「アフリカの言語で書かれた文学」？

でも、「アフリカ文学」の多くは、英語やフランス語など、ヨーロッパ系の言語で書かれています。

「アフリカ人が書いた文学」？
でも、「アフリカ人」とは、だれを指すのでしょうか。

アフリカにルーツを持つひと？

ヨーロッパからアフリカへ入植した人々の子孫は、「アフリカ文学」の書き手ですが、ルーツはアフリカではありません。逆に、奴隷貿易でアフリカからアメリカへ連れ去られた人々の子孫は、ルーツはアフリカですが、「アフリカ文学」の書き手ではないのです。

このように、「アフリカ文学」は、一筋縄ではいきません。どこかで線引きをしようとすると、かならず「でも…」が出

てきてしまう。
もちろん、その「でも…」の根っこには、植民地主義と奴隷制という、世界規模の、とてつもない暴力の歴史があります。

そこで、「アフリカ文学」の範囲を定めようとするよりも、一人ひとりの作家に、目を向けてみたい、と考えました。

「アフリカン」は、アフリカのなかに国籍があるひと、アフリカにルーツを持つひと、その他なんらかの意味で「アフリカ系」のひと、「アフリカ的」なひと、をふくみます。

「アフリカン」の作家たちとともに歩んできた、翻訳家・研究者の方々をゲストにお迎えし、地域・文化・言語もさまざまな書き手たちについて、また、複雑な「アフリカン文学」を翻訳することについて、お話しいたします。

出演者プロフィール



栗飯原文子
(Ayako AIHARA)
法政大学国際文化学部・大学院国際文化研究科教員。専門はアフリカ文学。訳書にチヌア・アチエベ『崩れゆく絆』(光文社古典新訳文庫)、

オインカン・ブレイスウエイト『マイ・シスター、シリアルキラー』、チゴズィエ・オビオマ『小さきものたちのオーケストラ』(以上、早川書房)など。



中村隆之
(Takayuki NAKAMURA)
早稲田大学法学学術院准教授。カリブ海のフランス語文学研究から出発し、文学にかぎらず広くアフリカ系文化に関心を寄せて研究・

執筆を続けている。『カリブ・世界論』、『エドゥアール・グリッサン』、『野蛮の言説』といった本を書き、カリブ海とアフリカを中心に翻訳者としても活動する。アラン・マバンクの『アフリカ文学講義』(みすず書房)を現在準備中。



くぼたのぞみ
(Nozomi KUBOTA)
10年早いといわれながら、南アフリカ出身のJ・M・クツェーヤナイジェリア出身のチママンダ・ンゴズィ・アディーチェなど、

アフリカ発/系の文学を紹介してきた翻訳家・詩人。10月に、80年代から手がけてきたクツェーヤ作品を俯瞰する著作『J・M・クツェーヤと真実』(白水社)を出したばかり。来年はアディーチェの初作『パープル・ハイビスカス』(河出書房新社)を出版予定。



橋本智弘
(Tomohiro HASHIMOTO)
青山学院大学文学部准教授。専門は英語圏文学/ポストコロニアル理論。共著に『ノーベル文学賞にもっとも近い作家たち』(青月社)、

『クリティカル・ワード 文学理論』(フィルムアート社)。訳書にアロン・バスターニ『ラグジュアリー・コミュニケーションズ』(堀之内出版)。

言葉を移す、 文化を映す(2)

お問い合わせ
國學院大學文学部外国語文化学科
《多言語・多文化の交流と共生》プロジェクト
専用アドレス kokugakuin.tagengo@gmail.com

YouTube 配信アドレス
<https://youtu.be/zegrJRdsalw>



Facebook イベントページ
<https://fb.me/e/19ZHAE1Za>



Twitter アカウント
@Kokugakuin_GBN

